

2012夏季一時金要求、2012春闘未解決職場 一覧

2012年6月19日現在

	2012夏季一時金要求内容	2012春闘	
冬夏年間要求	羽昨自校	年間160万円(冬夏とも未解決)	未解決(回答なし)
	能中自校	年間160万円(冬夏とも未解決)	未解決(回答なし)
	加南加賀自校	年間160万円(冬夏とも未解決)	未解決(回答なし)
	林ベニヤ	年間135万円(夏季分として45%)	妥結済
	門前サンケン	年間5ヶ月(夏季分として2.3ヶ月) →6/18妥結 平均277,274円(1.201ヶ月)	妥結済
	芝寿し	夏季分として総収入の15%	妥結済
	大同テクノ	春闘と同時解決 →夏季分1.831ヶ月(平均345,000円)	妥結済
夏季要求	北陸冷蔵	2.5ヶ月、正社員補充	妥結済
	市場冷蔵	2.5ヶ月、人員補充	妥結済
	魚市冷蔵	2.5ヶ月、正社員補充	妥結済
	丸一石油	2.0ヶ月	妥結済
	北国製紙	2.5ヶ月、組合掲示板設置	妥結済
	北陸葬祭	2.5ヶ月	妥結済
夏冬年間要求	天狗中田	(分会)年間5ヶ月 (コスモス)年間分として 前年支給額+一律10万円	妥結済
	金沢製粉	年間5ヶ月	妥結済
	執行官室	年間4ヶ月、定年後再雇用の協定化 →6/18妥結 夏季分1.5ヶ月(平均291,375円)	妥結済

※ 金沢市清掃、連合石川スタッフユニオンは別途要求、春闘時に同時決着。

六月五日、各職場で一斉に要求を会社側に提出し、一時金闘争がスタートしました。苦しさが増す一方の生活の維持向上に向け、全力で闘っていかねばなりません。

電機大手のパナソニック・NEC・ソニーなどでは大幅な「業績悪化」を理由にして、企業再編とともに大量の首切りが強行され、働

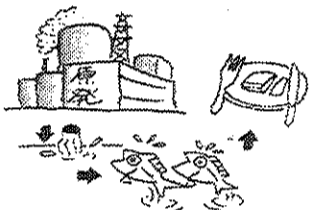
く労働者に犠牲が押し付けられています。経営者は一時金について業績の反映、成績考課の導入を声高に主張しています。しかし、私

夏季(年間夏冬) 一時金要求を一斉に提出! 一時金の大幅獲得! 全ての原発の再稼動を許さないぞ!



2012年 6月20日 No.909

全国一般石川地方労働組合 教宣部 金沢市駅西本町3-13-5 Tel. 076 (262) 0724 発行人 久田友恒



地本の仲間の協力で、無事金沢で開催できました。

全国一般オルグ養成研修会 多くの仲間が参加

5月26、28日 全国一般評議会オルグ養成研修会

五月二十六、二十八日にかけて、全国一般評議会が主催する「第十二回オルグ養成研修会」が金沢で初め

て開催されました。全国から七十五名、うち石川から三十名が参加しました。

講座は、①自治労働運動の課題、②平和・政治闘争と地域共闘、③労働委員会を活用した闘争強化、④、働く者の賃金論(高原特執が担当)、⑤脱原発、⑥労働法制と職場の権利闘争、と多彩な設定で、普段なかなか腰を据えての学習ができないなかで貴重な時間となりました。

また二日目の午後には、金沢観光(兼六園と金沢城公園)、平和の大切さを知るための「軍都金沢を知ろう」の二コースに分かれて、野外活動も行いました。懇親会の席では、全国一般らしく、あらゆる業種・



兼六園など名所めぐり等の野外活動も

【講座は、後日、講演録として冊子になります。各職場での学習にぜひ活用していきましょう】

一人一人がオルグとなり、今後の闘いと組織拡大の先頭に立っていかねばならない。ともにがんばりましょう。

職種の間が一堂に会して交流を深め、職場の闘いを共有しました。石川からは、門前サンケン、大同テクノ、天狗の仲間が取り組んでいる争議への支援のお礼と決意を述べました。

賃金の後払いであり、生活給です。経営側の業績、成果主義による金額決定や支払の攻撃に反対し、団結固く闘おう。



自校部会役員とともに、経営者に早期解決を求める北中自校の仲間(5月22日、北中指導員室)

ている自校の仲間を皆んな

で支え、ともに闘っていかねばなりません。そして職場、生活、権利を守るために闘う門前サンケン、大同テクノ、天狗などの各種争議の勝利に向け、支援連帯の取り組みを強化していきましょう。

反戦平和を考える 青年女性集会

「沖縄」と「福島」を考える 5・15沖縄平和行進参加者報告 他

日時: 7月3日(火) 18時15分~ 場所: 地場産センター本館3階第5研修室

6・10「大飯を止めて原発ゼロに
さよなら! 志賀原発」集会に二千名が決起!

大飯原発・志賀原発の 再稼働を許すな!

野田首相の「国民生活を
守るため」などと云う、で
たらめな再稼働容認発言に
強く抗議し、志賀原発を含
めた全ての原発再稼働に反
対する集会が六月十日(日)
県中央公園において開催さ

れました。地中は県内各地
から一五〇名を超える仲間
が結集しました。
集会は主催者を代表し、
岩淵(弁護士) 実行委員長
が「原発の再稼働は絶対に
認められない、志賀原発の

差し止め訴訟にも取り組む」
と力強く挨拶、富山・福井・
石川の三県の代表からもリ
レー方式でメッセージが発
せられました。
集会後、直ちにデモ行進
に出発。香林坊、片町を抜け、
北電前では怒りのシュプレ
ヒコールがひととき激しく
あがりました。市民グルー
プは様々な衣装や音楽でア
ピール。私たちは平和運動
センターの仲間たちとも
に「原発のない社会を作ろう」

の横断幕と職場のプラカー
ドで脱原発を訴えました。
福島原発事故は「収束」
していません、事故原因も
ハッキリしていません。十
六万人を超える人たちが避
難生活を強いられ故郷を追
われたままです。
こんな中で再稼
働のゴーサインは、
暴挙としか言いよ
うがありません。
脱原発の闘いをさ
らに強化しよう!



仲間からの報告

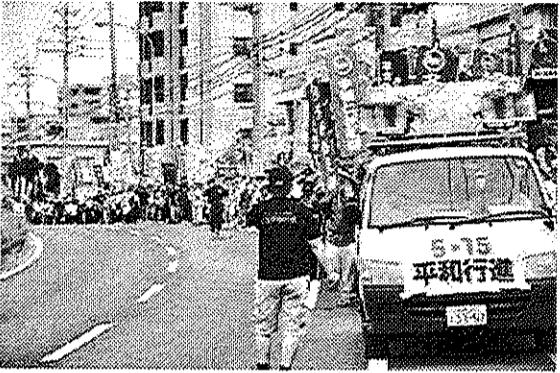
平和センターの仲間と沖
縄平和行進、福島・宮城現
地視察に参加した地本の仲
間の報告です。

5・10〜13 沖縄 平和行進に参加して

今回、沖縄の平和行進に
参加して下さいとのオファ
ーを受け、軽い気持ちで(沖
縄も平和行進も初めてだっ
たから)返事一つでわかり
ましたと言ってしまった。
平和行進に参加するにあたり、
沖縄の歴史を少し仲間



上/県平和運動センターの仲間と(5/10県立武道館前)
下/全国から集まった仲間が行進する様子。



と勉強しました。
いざ沖縄の会場。約一五
〇〇名の人たちで結団式が
始まり、与那国島から引き
継ぎと言う事がわかり、も
うすでに始まっていること
に気付かされました。そし
て翌日、南コースの平和行
進が始まり、最初から道の
真ん中を歩くとは思わず驚
きました。歩き始めてから
見たことない船が見えたり、
自衛隊那覇基地には復帰四
十年の間に回収した爆弾の
数が書いてあり、なんと三
万発、とても驚きました。
歩き続けている間にも様々
な慰霊碑があり、そしてひ

めゆりの塔に到着、館長か
ら「ひめゆりとは、何も知
らない普通の学生たちで救
護班としてかり出された。
人が人でなくなっていく行
為が3ヶ月続いて、今なお
見つかっていない人がたくさ
んいる」と話を聞いて、悲
しくなりました。
次の日、平和祈念公園か
らスタート、まさか沖縄戦
最終の地とは知らず、見た
目は全く違うため正直驚
きました。その事を思いな
がら、歩き始めました。す
るとNHKの人から「どん
な思いで行進に参加してま
すか?」と聞かれ、基地と
原発について話しました。
それが放送されたかどうか
わかりませんが、それはさ
ておき、歩き続けて南鳳原
町文化センターに到着、こ
のへんも陸軍病院だったら
しく、その光景も悲惨なも
のだったそうです。

そして、次の日やつと普
天間基地の周りを歩く時が
来ました。実際歩くとなりの
有名な沖縄国際大軍ヘリ
墜落現場を見て、今では焦
げた壁はなく燃えた木とプ

ロペラの傷後のついた壁だ
けでしたが、とてもぞつと
しました。また、基地の土
手にお墓が何個もあり「な
んで?」と思いましたが、
たぶんお墓が先にあり、そ
こに基地を無理やり作った
んだなあと思っていました。
時間の都合上、最後まで
参加出来ませんでした。が、
行って良かったと思えます。
これからも米軍基地反対、
脱原発運動を頑張ってい
たいと思います。
(上岡純一/門前サンケン
支部書記次長)

6・1〜2 福島 現地研修会に参加して

六月一日、金沢地区
平和運動センターの仲間一
三名と共に、福島県いわき
市と宮城県を訪れた。
初日は、いわき市内の合
同庁舎で県の担当者からい
わき市内の被災状況の説明
を受けた後、地元選出議員
後援会の皆様の道案内で津
波被害の大きかった地区を
見てまわった。また、立ち
入り禁止区域の境界となっ

ている広野町(福
島第一原発の南
20キロ)にも行
つてきた。
二日目は、仙台
空港付近の津波
被災地とガレキ
集積場を見て帰
路についた。
現地に行つて
知ったことは、
福島県沿岸部で
も一つの集落が丸ごとなく
なるような大きな津波被害
があったということ、いわ
き市の地震被害は三月十一
日より一か月後の四月十一
、十二日に発生した余震によ
るものの方が大きかったと
いうこと、原発事故の後始
末のために日本各地から福
島県へ労働者が入ってきて
いるということ(広野町の
検問は愛知県警が行つてい
た)、そして私が見てきた
宮城の津波被災地域のガレ
キは、何ら復興の妨げには
なっていないということだ
った。
また、驚いたことは、移
動中のバスのなかで、放射

線の線量計
のアラーム
が鳴り響く
ことがあつ
たことと、
帰りの東北
自動車道で、
白昼堂々と
高射砲を引
いて走つて
いる自衛隊
のトラック
に遭遇したことだ。
三・一一以降、国民は「絆」
「つながろう日本」の大会
唱のもとに我慢を強いられ、
福島では被災民が被曝まで
も強要されている。その一
方で、多くのマスコミが米
軍の「トモダチ作戦」や自
衛隊の震災救援活動をもて
はやし、政府は、大々的に
「電気が足りない」キャン
ペーンを行い、原発再稼働
を誘導している。
私たちは、「脱原発」、
「戦争のできる国」づくり
反対の声を、さらに大きく
上げていかなければならな
いと思った。
(塚本由美子/書記局)



津波でほぼ壊滅した集落のガレキ(福島県
薄磯地区・豊間中学校)

地本2012年グランドゴルフ&BBQ大会

6月3日(日) 内灘サイクリングターミナル

<上位入賞者>

- 優勝/加藤寿一(城東自校)
- 準優勝/石田寛(天狗支部)
- 3位/盛岡幸一(城東自校)
- 4位/前田満治(北鉄自校)
- 5位/荒木宗昭(特執)



優勝賞品は
天狗ハム詰め合わせ!

ホールインワン賞ゲット!



真刻そのもの

16職場、60名の仲間が
家族ぐるみで親睦を深
めました。